



岡崎市議会議員

井町よしたかの “いいまち” ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します！

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所（東レ労組内） TEL:34-2514

岡崎市議会の決算特別委員会（文教生活分科会）の中で、岡崎市の文化財が市民の身近なものになっていないことが調査結果から明らかになった旨の答弁がありました。市民の身近にありながら、身近なものとしての認識が希薄になっている文化財。今回は矢作地域の文化財をご紹介します。今回も、私も専門家ではありませんので、市のホームページに記載の紹介となります。興味があれば、もっと調べてみてください。

国指定重要文化財 妙源寺柳堂 (附：厨子1基及び須弥壇1具、棟札)



真宗高田派の妙源寺にある柳堂は、室町時代中期15世紀前半頃の建築で、初期真宗寺院の御堂の姿を残す太子堂。桁行3間、梁間3間、屋根は寄棟造檜皮葺で、全面1間に向拝(こうはい)をつけている。正面1間は棧唐戸(さんからと)をつくり、他は部

戸(しとみど)、壁板としたおだやかな住宅風の堂で、内部は1室で、中央後方に来迎壁を立て、その前に須弥壇(しゆみだん)を置き、禅宗様の厨子(すし)を据えて中に聖徳太子16歳像を安置している。当寺には正和3年(1314)の銘を記した棟札があるが、これは現存の建物の前身の堂のものと思われる。なお、寺では親鸞説法の「柳堂」と伝承しているが、中世この堂は柳堂とはいわず、「太子堂」と呼ばれていたようである。

ふりがな	みょうげんじやなぎどう(つげたり:ずしいっきおよびしゆみだんいちぐ、むなふだ)
指定(種別)	国指定重要文化財(建造物)
員数	1棟
指定年月日	明治36年4月15日
所在地	岡崎市大和町字沓市場
所有者	妙源寺
建築年代	鎌倉時代 正和3年(1314)再建
公開情報	外観見学可
参考文献	・『新編岡崎市史 18巻 建造物』新編岡崎市史編さん委員会、1983年、111-112ページ ・愛知県史編さん委員会編『愛知県史 別編 文化財1 建造物・史跡』愛知県、2006年、84-85ページ



高句麗(こうこうり)の様式のものであり、それらが三河地方一円に分布していることから、三河中核的な寺院であったことがわかる。

国指定 史跡 北野廃寺跡

北野廃寺は、西三河地区における最古の寺院跡で、矢作川右岸の碧海台地の南東縁に立地している。昭和39(1964)年と同52(1977)年に行われた調査により、塔や金堂・講堂の基壇とそれらを結ぶ回廊の一部、そして寺地を画する土塁が確認され、それらの配置から、東西126.5m、南北146mの寺地の中に堂塔が直線上に並び四天王式の伽藍配置であったことがわかる。調査によって発見された出土品の中には、堂内の壁面を飾った埴土(はに)せんぶつ(や)正倉院宝物にのみ類例のみられる馨形垂飾(けい)がたすいしよ(く)などのように、全国的に見ても貴重なものもみられる。また堂塔に使用された瓦の様子は、あまり例のない

絵画

指定別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地	備考
国	絹本着色善光寺如来絵伝	3幅	妙源寺	大和町	鎌倉
国	絹本着色法然上人絵伝	3幅	妙源寺	大和町	鎌倉
国	絹本着色親鸞上人絵伝	3幅	妙源寺	大和町	鎌倉
国	絹本着色光明本尊	3幅	妙源寺	大和町	鎌倉
市	絹本着色源空上人選拵付属御影	1幅	妙源寺	大和町	鎌倉
市	絹本着色当麻曼荼羅絵	1幅	妙源寺	大和町	鎌倉
市	絹本着色聖徳太子絵伝	3幅	妙源寺	大和町	室町
市	絹本着色阿弥陀如来十二光仏像	1幅	暮戸教会	岡崎市美術博物館	室町
市	絹本着色蓮如上人像	1幅	勝蓮寺	矢作町	室町
市	絹本着色親鸞上人絵伝	3幅	願照寺	岡崎市美術博物館	室町末期
市	絹本着色證如上人像	1幅	願照寺	岡崎市美術博物館	室町
市	絹本着色親鸞上人三狭間御影	1幅	願照寺	岡崎市美術博物館	永正15(1518)年
市	絹本着色徳川信康像	1幅	勝蓮寺	矢作町	江戸
市	絹本着色聖徳太子六臣像	1幅	願照寺	岡崎市美術博物館	鎌倉末から室町初期

彫刻

指定別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地	備考
市	木造観世音菩薩立像	1軀	清泰寺	富永町	平安後期
市	木造金剛界大日如来坐像	1軀	大日堂	西本郷町	平安後期
市	木造聖観世音菩薩立像	1軀	大日堂	西本郷町	平安後期
市	木造定印阿弥陀如来坐像	1軀	天徳院	筒針町	平安後期
市	木造地藏菩薩坐像	1軀	善国寺	渡町	鎌倉初期
市	木造来迎阿弥陀如来立像	1軀	善国寺	渡町	鎌倉
市	木造孝養太子立像	1軀	妙源寺	大和町	鎌倉
市	木造親鸞上人坐像	1軀	妙源寺	大和町	室町
市	木造孝養太子立像	1軀	聖善寺	宇頭町	慶長2(1597)年

書跡・典籍・古文書

指定別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地	備考
市	写本称賛浄土仏撰受経	1巻	妙源寺	大和町	奈良
市	紙本墨書親鸞上人十字名号	1幅	妙源寺	大和町	鎌倉
市	版本選択本願念仏集	2冊	妙源寺	大和町	室町末期
市	写本蓮如上人御文章	1冊	正法寺	東本郷町	室町
市	明版大蔵経	770冊	暮戸教会	暮戸町	中国明代
市	親鸞聖人門侶交名牒	1巻	妙源寺	大和町	康永3(1334)年
市	妙源寺文書	77点	妙源寺	大和町	建武3年から慶長14年

有形民俗文化財

指定別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地	備考
市	祭礼山車	1台	矢作町3区	矢作町	江戸末期
市	祭礼山車	1台	矢作町2区	矢作町	江戸末期
市	矢作神社絵馬群	12点	矢作神社	矢作町	江戸から明治

この他にも、工芸品が6点、書跡・典籍・古文書が7種853点、史跡が北野廃寺跡他2か所、天然記念物が1本（聖善寺のしだれ桜）がありますが、詳細は岡崎市のホームページ『[岡崎市指定文化財目録](#)』をご覧ください。身近なところに文化財って結構ありますよね(^_^)

<https://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1109/1159/p011771.html>



井町よしたか
連絡先



HPはこちら

事務所 〒444-8522 岡崎市矢作町字出口1番地 東レ労組内

TEL : 0564-34-2514 FAX : 0564-34-251

自宅 〒444-0931岡崎市大和町字塗御堂24-6

TEL : 070-5253-4192 FAX:32-4192

E-mail : yimacchi@m5.catvmics.ne.jp

ブログ : <http://ameblo.jp/iimachi-imachi/>



政治に参加しよう！

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。